

# 高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

## Rotary Club



意識を喚起し 進んで行動を

“CREATE AWARENESS, TAKE ACTION”

2000～2001年度国際ロータリーのテーマ

### 例会記録 (2001. 2. 7(水)) 通算 1104 回

ソング 「君が代」「奉仕の理想」「歓迎歌」

来訪ロータリアン報告(三輪)

山本 広志 様 (高砂R.C.)  
 長谷川 純夫 様 (高砂R.C.)  
 坂牛 八州 様 (高砂R.C.)  
 加茂 良平 様 (高砂R.C.)

出席報告 (澤田)

1月24日 会員数60名 欠席者 2名 出席率 96.30% <修正による>  
 2月7日 会員数60名 欠席者 10名 出席率 81.48%

誕生祝

小西 文孝 会員  
 吉田 一富 会員  
 田中 伸明 会員  
 秋元 康人 会員  
 森本 孝義 会員  
 藤本 顕 会員  
 大森 明夫 会員



#### プログラム予定

| 2月7日(水)     | 2月14日(水)                    | 2月24日(土)                  | 2月28日(水)    |
|-------------|-----------------------------|---------------------------|-------------|
| 卓話<br>廣瀬 会員 | 国際奉仕委員会担当<br>卓話<br>中野 穂積 さん | 東播第二分区I.M.<br>於：加古川プラザホテル | 卓話<br>辻田 会員 |

会長 唐津 巳喜夫 幹事 内海 薫 クラブ会報委員長 都倉 達 殊  
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

ニコニコ報告

小西文孝 …… 誕生祝ありがとうございました。又西田先生から版画をいただきました。ありがとうございました。

川崎一生 …… 誕生のお祝ありがとうございました。又、本日申し訳ありませんが早退致します。

藤本 顕 …… 誕生月祝を頂き有難うございます。

田中伸明・吉田一富 …… 誕生祝ありがとうございます。

大森明夫 …… 誕生日を祝っていただいてありがとうございます。

矢野隆三 …… 早退します。

岡本崇司 …… 早退します。

志野木貞夫・志方正昭 …… 所用の為、早退します。

伊藤勝之 …… 早退しますので。

圓山善輝 …… 所要の為早退致します。

委員会報告

- 親睦委員会  
2月18日(日) 城崎 なるや旅館「かに食べ歩きツアー」  
男性 20,000円 女性 15,000円
- 米山奨学委員会  
米山奨学金の振込みをお願いします。
- 国際奉仕委員会  
中野穂積さんを囲んでのお茶会の出欠を再度回覧します。

幹事報告

第29回 通算1056回

1. 例会変更

加古川平成R.C.

2/21(水) → 2/24(土) PM 12:00

東播第2分区I.M. 於: 加古川プラザホテル

高砂R.C.

2/23(金) → 2/24(土) PM 12:00

東播第2分区I.M. 於: 加古川プラザホテル

2. 全国ロータリークラブ会員名簿申し込み(名簿回覧)

3. 中嶋ガバナーから  
インド地震義捐金の協力依頼  
(会員1名あたり1,000円を目途に)
4. 兵庫県フロン回収処理推進協議会から  
広報誌「トライアングル」第25号(回覧)
5. 例会終了後、理事役員会を開催

会長の時間

ロータリー財団地域社会援助プログラムの申請について  
ロータリー財団地域社会援助プログラム(CAP)の申請要領、手続き方法が来ました。年度中葉ですが、ロータリー財団の資金が財団内の地域社会にも使用出来る新しい試みとして、各クラブでのご検討をお願いします。

1. クラブ 1口 1,000ドルのプログラム
2. 5クラブを申請順に審査、確認し、地区よりロータリー財団に申請します。
3. 地区への申し込み期限:  
本年度は2月15日までに申請書を提出して下さい。

本日のプログラム

卓話 高砂市荒井町出身 烈婦「登波」の碑を訪ねて 廣瀬 会員  
残暑なお厳しき平成12年8月26日、私は新幹線の新下関経由で山陰本線の列車に乗り、山口県豊浦郡豊北町滝部へと向かった。車中地図を広げながら、お世話になった生田神社の故福田義文宮司の出身地空路子もこの近くだったなどと、思いを巡らしつつ目的地に到着した。

生まれて初めて豊北町を訪ねたのには理由があった。昨春たまたま『吉田松陰全集』所収の「討賊始末」を読んでいると、松陰先生が絶賛する登波という婦人の経歴が詳しく記されているところに、「登波が父甚兵衛、母は播磨荒井の百姓なり。登波7歳の時、母親に連れられ、姉伊勢・弟勇助と以上4人連にて、荒井を出て下関に來り滞留す。」とあるのを見つけた。播磨の荒井といえ、旧加古郡荒井村(現高砂市荒井町)のことである。しかし、このことをこれまで郷土史で取上げた人はなく、恥ずかしいことだが50歳を過ぎた今日まで、私自身まったく知らなかったのである。

文政4年(1821)10月、登波の夫幸吉の妹松と、その夫枯木龍之進の別れ話がかじれ、父甚兵衛の屋敷で龍之進により、父・弟勇助・義妹が殺され、夫幸吉も重傷を負わされるという事件が起こった。他所にいて難を逃れた登波だが、後に弟を殺した仇を捜して諸国を十数年旅をし、辛苦の末ついに本望を遂

げたのである。その登波を松陰先生は「烈婦」として顕彰すべく、資料を遍く集めて考証し、この仇討ち顛末記編纂のため1ヶ月間門下生への授業を停止するほどであった。そして、安政4年(1857)に松陰先生は烈婦登波の碑文起草するが、安政の大獄もあり、残念ながら石に刻まれることはなかった。

そこで、これを契機に登波の事蹟を調査したいという気持ちが高まり、学友の野村清風君(山口県神社庁副庁長)の協力を得て、甚兵衛が宮番をしていた滝部八幡宮のこと、その後登波の碑は大正6年(1917)八幡宮の境内に地元出身の貴族院議員中山太一氏等が中心になって建立されていたことなどを知ることができ、今回の滝部への訪問となったのである。

事前に案内を滝部八幡宮欄宜の山名寿美子女史にお願いしていたところ、思いもかけず皇学館の大先輩で豊北町郷土文化研究会会長・阿川八幡宮宮司の伊藤忠芳氏(宮崎神政連会長の実兄)、元豊北町議で滝部八幡宮責任役員の郷土史家西嶋清氏、豊北町歴史民俗資料館の窪井方弘氏も出迎えて下さり恐縮した次第である。早速、滝部八幡宮に参拝の後、登波の碑を拝観。高さ3メートル40、幅1メートル40の実に立派な石碑であった。さすが長州人である。時の移り変わりはあっても、松陰先生の志を受け継ぎ、60年後に建碑しているのである。引き続き甚兵衛一族の墓にも参拝する。

この度の訪問には二つの目的があった。一つは登波の碑を実際に検分すること、もう一つは荒井町民を代表して甚兵衛の墓に参拝し、故郷荒井の水と播磨の米で作られた菓子をお供えすることであった。「討賊始末」によると、仇討ちの旅に出発した文政8年には登波は27歳であったので、逆算すると寛政11年(1799)の生まれであり、7歳の時に家族と荒井を出たのは文化2年(1805)ということになる。昭和59年に甚兵衛一族の墓の所在を発見した西嶋清氏の案内で、八幡宮より1キロ離れた北側の山に登る。現在、幹線道路の建設工事のため、これまでの登山路は通行できず、汗だくになりながら道なき道を歩いて墓地に到着。195年ぶりの故郷の水と菓子をお供前に供える。

日程の都合で、長時間の滞在が許されなかったものの、豊北町歴史民族資料館に立寄り、いくつかの史料をコピーしていただいたり、刊行物をいただき、所期の目的を達成することができ、有意義な一日であったと思う。

とくに、現地で甚兵衛・登波の出身地「播磨の荒井」が現高砂市ではなく、相生市であると誤って伝えられていることに驚いた。相生市に荒井という村名・地名はないのに、刊行物などに「相生市大字荒井」などと記されている。何故このような錯誤が生じたのか明らかでないが、訂正するよう要請しておい

た。

今後の研究課題としては、文化2年に甚兵衛一族が荒井より下関に移り住んだのは如何なる理由からか、当時荒井と下関と交流があったのか否か、荒井塩田の衰退と綿作の興隆と関係がありはしないかなどが考えられよう。

また、よく聞く言葉に、われわれのような小さい町・村にはこれといった歴史もなく、人物もいないというのがある。しかし、それは間違いであり、後世の人間が如何にそれらを発掘し、顕彰するかが大切であり、豊北町の人々の烈婦「登波」に対する熱情は大いに見習うべきだと痛感しながら滝部を離れた。

理事・役員会議事録

高砂青松ロータリークラブ

|           |           |
|-----------|-----------|
| 通算        | 第279回     |
| 2000～2001 | 第8回       |
| 日         | 平成13年2月7日 |
| 場所        | 会頭室       |

出席者

|    |   |     |   | 臨時出席者 |       |
|----|---|-----|---|-------|-------|
| 唐津 | ○ | 中谷  | × | 鹿間行   | 譚     |
| 丸山 | × | 藤本  | ○ | 西中    | プログラム |
| 内海 | ○ | 大森明 | ○ |       |       |
| 大橋 | ○ | 廣瀬  | ○ |       |       |
| 庄司 | × | 森本  | × |       |       |

会長挨拶：最後までご協力をお願いします。

報告事項：出席報告（内海幹事）（後記参照①）

会費納入状況（大橋卓司）

I.M. 出席者数 37名

地区大会出席者数 34名

議案事項：

- 2月、3月のプログラムの件（後記参照②）…承認
- 3月7日（水）→3月9日（金）献血例会の件  
AM10:00～PM4:00 場所 サンモール高砂
- 合同例会の件  
3月14日（水）神社会館 講師 桑田陽子氏 謝礼 委員会一任
- 次年度委員会構成の件  
S.A.A. 1名、副S.A.A. 2名とする案…丸山副会長と相談一任する。
- 米山梅吉記念館恒久基金寄付の件  
クラブで拠出 100円×60名=6000円
- その他
  - 中野穂積さんとの茶話会 15～20名 明日香にて
  - 次月理事会は例会終了後、神社会館で。

①出席報告

12月度 本クラブ出席率 73.28% メークアップ率 25.34% 修正出席率 98.62%

1月度 本クラブ出席率 82.41% メークアップ率 14.82% 修正出席率 97.23%（途中経過）

|        | 12/6 | 12/13 | 12/20 | 12/27 | 1/13 | 1/17 |  |  |  |
|--------|------|-------|-------|-------|------|------|--|--|--|
| 会員数    | 60   | 60    | 60    | 60    | 60   | 60   |  |  |  |
| 出席数    | 39   | 38    | 38    | 44    | 49   | 40   |  |  |  |
| メークアップ | 15   | 16    | 15    | 9     | 4    | 12   |  |  |  |
| 欠席数    | 1    | 0     | 1     | 1     | 1    | 2    |  |  |  |
| 出席免除   | 5    | 6     | 6     | 6     | 6    | 6    |  |  |  |
| （病欠欠席） | 0    | 0     | 0     | 0     | 0    | 0    |  |  |  |

②2月、3月のプログラム

|     |                                 |     |                              |
|-----|---------------------------------|-----|------------------------------|
| 2/7 | 卓話 廣瀬会員                         | 3/7 | 3月9日（金）に変更<br>献血例会 於：サンモール高砂 |
| 14  | 国際奉仕委員会担当<br>卓話 中野穂積さん          | 14  | 合同例会 於：高砂神社会館                |
| 21  | 2月24日（土）に変更<br>I.M. 於：加古川プラザホテル | 21  | 卓話                           |
| 28  | 高砂市みどり課 今津賢朗氏<br>「高砂市の自然環境について」 | 28  | 卓話 職場例会「めぐみ苑」                |